

## 豊田PCB廃棄物処理施設の状況報告について

## 1 豊田PCB廃棄物処理事業の処理実績報告

(1) PCB廃棄物の処理実績

PCB廃棄物の処理量（投入ベース）

平成26年12月末現在

	(注1) トランス類 (台)				(注2) コンデンサ類 (台)				(注3) 廃PCB (本)	純PCB 処理量 (トン)
	大型	小型	車載	合計	普通	特殊	連結	合計		
試運転時 H17年6～8月	1	5	8	14	447	0	0	447	33	5.0
操業時 (H17年9月～)										
H17年度合計	10	39	0	49	991	0	0	991	0	26.8
H18年度合計	17	50	3	70	1,359	0	1	1,360	1	63.7
H19年度合計	23	156	21	200	2,379	0	82	2,461	30	115.8
H20年度合計	36	235	24	295	3,762	0	171	3,933	(※1) 15	186.4
H21年度合計	40	224	26	290	4,738	0	103	4,841	(※1) 46	199.3
H22年度合計	34	131	22	187	3,772	0	30	3,802	60	162.9
H23年度合計	31	84	21	136	3,923	0	0	3,923	36	144.5
H24年度合計	41	137	34	212	5,456	0	27	5,483	95	217.9
H25年度合計	43	119	50	212	6,110	98	8	6,216	(※1) 196	207.5
H26年4月	5	20	4	29	509	50	0	559	19	25.1
H26年5月	0	0	0	0	84	23	0	107	0	1.4
H26年6月	5	9	8	22	591	120	0	711	0	26.1
H26年7月	5	9	6	20	443	113	0	556	16	14.9
H26年8月	12	4	3	19	571	116	0	687	0	13.9
H26年9月	4	0	7	11	578	71	0	649	33	28.1
H26年10月	14	0	6	20	564	91	0	655	12	22.5
H26年11月	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0.0
H26年12月	8	9	6	23	555	93	0	648	1	21.0
H27年1月				0				0		
H27年2月				0				0		
H27年3月				0				0		
H26年度合計	53	51	40	144	3,895	679	0	4,574	81	153.1
操業期間合計	328	1,226	241	1,795	36,385	777	422	37,584	560	1,478
全処理量	329	1,231	249	1,809	36,832	777	422	38,031	593	1,483

(注1) : トランス類とは、変圧器、変流器、リアクトル等を含む。大型トランスとは重量が1.62tを超えるもの又は小型トランス解体ラインでは処理できないもの。

(注2) : 普通コンデンサはサージアブソーバーを含む。連結コンデンサは小型コンデンサ2～18個がセットになったもの。(セット数)

(注3) : 廃PCBとはドラム缶やペール缶入りの廃PCB油

(※1) H20年度はペール缶7本、H21年度はペール缶1本、H25年度はペール缶3本を含む。その他はすべてドラム缶。

## (2) 有価物及び産業廃棄物の払出実績

有価物及び産業廃棄物の払出量

単位 トン

平成26年12月末現在

	有価物		産業廃棄物						払出物
	鉄類	銅類	廃TCB	液処理 残渣	含浸物	碍子・ ガラス	廃活性炭 (PCB非含有)	廃プラスチック類 等	合計
H17年度合計	24.7	0.2	6.3	162.6	28.4	1.4	0.0	0.0	223.6
H18年度合計	86.4	14.9	30.2	393.7	36.7	3.2	0.0	0.0	565.1
H19年度合計	168.4	22.5	41.1	688.7	67.7	6.3	0.0	4.0	998.7
H20年度合計	279.5	43.7	63.6	1,188.4	84.4	10.2	6.0	14.0	1,689.8
H21年度合計	294.1	44.3	77.6	1,282.3	97.4	11.5	5.3	10.0	1,822.5
H22年度合計	220.7	28.1	56.0	1,020.1	73.5	10.1	3.6	6.1	1,418.2
H23年度合計	222.3	31.9	48.6	894.3	70.5	9.3	2.9	8.9	1,288.7
H24年度合計	326.5	47.1	78.6	1,346.1	107.2	12.6	3.2	10.1	1,931.4
H25年度合計	362.3	45.3	60.8	1,297.7	108.2	15.7	4.2	9.6	1,905.6
H26年4月	36.5	4.9	8.0	178.7	8.2	2.1	0.0	1.0	239.4
H26年5月	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2
H26年6月	33.9	3.9	0.0	161.3	10.0	0.0	0.4	1.3	210.8
H26年7月	28.5	6.9	8.1	94.4	12.2	1.4	0.0	1.2	152.8
H26年8月	28.1	2.7	0.0	74.7	11.0	0.8	0.0	0.7	118.1
H26年9月	36.4	3.4	7.9	166.0	13.6	2.4	0.7	1.2	231.7
H26年10月	30.5	2.0	14.4	145.1	12.6	2.8	0.0	0.8	208.2
H26年11月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
H26年12月	32.9	4.9	0.0	112.2	10.4	1.9	0.0	1.0	163.2
H27年1月									0.0
H27年2月									0.0
H27年3月									0.0
H26年度合計	226.9	28.8	38.4	932.4	81.3	11.4	0.0	7.2	1,327.5
操業期間合計	2,211.7	306.7	501.2	9,206.3	755.3	91.7	25.2	69.9	13,171.1

\* この表はPCB廃棄物の処理に伴い発生するものであるが、この他、分析廃液などの産業廃棄物も払い出している。

\* 廃プラスチック類は大半が洗浄処理後の使用済み化学防護服である。

## 2 東海4県PCB廃棄物の処理状況（平成26年12月末現在）

### ①機器別に見た状況

- ・大型トランスは、373台登録されていますが、豊田市内には対象機器が存在せず、愛知県内で89.3%の処理が終わっており、全体では80.4%を処理しました。
- ・小型トランスは、1403台登録されていますが、豊田市内のものは処理が終了、愛知県内でも91.4%の処理が終わっており、全体では87.7%を処理しました。
- ・車載型トランスは、800台登録されていますが、豊田市内には対象機器が存在せず、静岡県内に保管されている機器の31.1%を処理しました。
- ・コンデンサ（特殊形状コンデンサを除く）は、48341台登録されていますが、豊田市内のものは95.8%、愛知県内では86.0%の処理が終了し、全体では77.9%を処理しました。
- ・特殊形状コンデンサは、6706台登録されていますが、豊田市内のものは70.7%、全体では12.3%を処理しました。
- ・PCB油類はほとんどがドラム缶に保管されており、934缶登録されていますが、豊田市内のものは処理が終了し、愛知県内で67.6%、全体では63.7%を処理しました。
- ・保管容器は、1364箱登録されていますが、豊田市内のものは53.9%、全体では13.9%を処理しました。

### ②事業場別に見た状況

東海4県には、9156の事業場が登録されています。豊田市内では93.5%の事業場からPCB廃棄物受け入れを実施しており、愛知県内では88.5%、全体では83.7%の事業場より受け入れました。

### J E S C O登録実績（試運転搬入物を含みます）

区域名称	事業場数	大型トランス 台数	小型トランス 台数	車載トランス 台数	コンデンサ 台数	特殊形状 コンデンサ 台数	PCB油 缶数	保管 容器数
豊田市	277	0	10	0	5,622	796	5	243
愛知県	3,961	177	591	2	19,723	1,536	380	472
岐阜県	1,429	17	145	0	4,599	450	34	148
静岡県	2,408	37	410	798	11,687	1,473	330	362
三重県	1081	142	247	0	6,710	2,451	185	139
合計：	9,156	373	1,403	800	48,341	6,706	934	1,364

### 受け入れ済台数

区域名称	事業場数	大型トランス 台数	小型トランス 台数	車載トランス 台数	コンデンサ 台数	特殊形状 コンデンサ 台数	PCB油 缶数	保管 容器数
豊田市	259	0	10	0	5,384	563	4	131
愛知県	3,504	158	540	0	16,952	90	257	37
岐阜県	1,120	9	114	0	3,084	71	12	11
静岡県	2,009	33	349	249	8,600	52	207	7
三重県	768	100	217	0	3,643	50	115	3
合計：	7,660	300	1,230	249	37,663	826	595	189

### 進捗率

区域名称	事業場数	大型トランス	小型トランス	車載トランス	コンデンサ	特殊形状 コンデンサ	PCB油	保管 容器
豊田市	93.5%	—	100.0%	—	95.8%	70.7%	80.0%	53.9%
愛知県	88.5%	89.3%	91.4%	0.0%	86.0%	5.9%	67.6%	7.8%
岐阜県	78.4%	52.9%	78.6%	—	67.1%	15.8%	35.3%	7.4%
静岡県	83.4%	89.2%	85.1%	31.2%	73.6%	3.5%	62.7%	1.9%
三重県	71.0%	70.4%	87.9%	—	54.3%	2.0%	62.2%	2.2%
合計：	83.7%	80.4%	87.7%	31.1%	77.9%	12.3%	63.7%	13.9%

### 3 周辺環境への影響の状況

#### ○ 排出源モニタリング

操業開始から平成26年12月末現在

要素	調査項目	これまでの最大値 (カッコ内は測定年月)	平成26年			管理目標値等	単位
			4月	7月	10月		
排気	PCB	1～4系	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01	mg/m <sup>3</sup> N
		5系	0.001未満	0.001未満	0.001未満		
		6系	0.001未満	0.001未満	0.001未満		
	ダイオキシン類	1～4系	0.026 (H18.10)	0.000064	0.000061	0.1	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
		5系	0.000052 (H18.9)	1.8E-06	1.4E-06		
		6系	0.000058	2E-07	6.4E-06		
ベンゼン	1～4系	2.2 (H22.10)	0.5未満	0.5未満	50	mg/m <sup>3</sup> N	
	3-2系	71 (H19.1)	0.5未満	0.5未満			
排水 (放流口)	PCB	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	mg/L	
	ダイオキシン類	0.13 (H19.2)	0.000043	0.012	0.011	5	pg-TEQ/L
	その他有害物質	未検出	—	—	—	規制基準の1/10	
騒音	騒音レベル	昼間	69 (H19.1)	—	—	70	dB(A)
		夜間	68 (H19.1)	—	—	65	
振動	振動レベル	昼間	49 (H21.1)	—	—	70	dB
		夜間	48 (H22.2)	—	—	65	
悪臭	アセトアルデヒド	0.039 (H20.10)	—	—	—	0.05	ppm
	トルエン	0.9未満	—	—	—	10	ppm
	キシレン	0.1 (H18.9)	—	—	—	1	ppm
	その他特定悪臭物質	未検出	—	—	—	規制基準(第1種地域)	

(注1) 豊田施設のPCB処理工程においては、工程排水は発生しません。

(注2) 排水の「その他有害物質」、悪臭の「その他特定悪臭物質」については、稼働後の年1回の測定で未検出であったため、その後の毎年の測定は行っていません。

#### ○ 周辺環境モニタリング

操業開始から平成26年12月末現在

要素	調査項目	これまでの最大値 (カッコ内は測定年月)	平成26年			環境基準値等	単位
			4月	7月	10月		
大気	PCB	0.0041 (H22.7)	0.0032	0.0036	0.00052	年平均0.5 (注1)	μg/m <sup>3</sup>
	ダイオキシン類	0.057 (H20.1)	0.024	0.017	0.011	年平均0.6 (注2)	pg-TEQ/m <sup>3</sup>
	ベンゼン	0.0036 (H26.10)	0.0026	0.0017	0.0036	年平均 0.003(注2)	mg/m <sup>3</sup>
土壌	PCB	0.0005未満	—	—	0.0005未満	検出されないこと (0.0005未満)	mg/L
	ダイオキシン類	1.5 (H23.10)	—	—	0.78	1000	pg-TEQ/g
地下水	PCB	0.0005未満	0.0005未満	—	0.0005未満	検出されないこと (0.0005未満)	mg/L
	ダイオキシン類	0.075 (H19.2)	0.038	—	0.042	1.0	pg-TEQ/L

(注1) 評価基準値「PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCBの暫定排出許容限界について」(昭和47年12月22日付 環境庁大気保全局長通達)で示される環境中のPCB濃度。

(注2) ダイオキシン類及びベンゼンの大気環境基準は、豊田施設の存在する工業専用地域には適用されません。

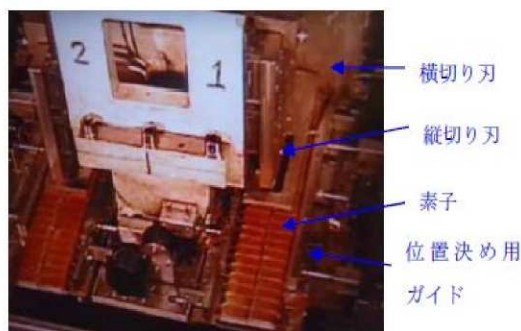


## 4 素子裁断装置油圧配管からの作動油漏洩対策

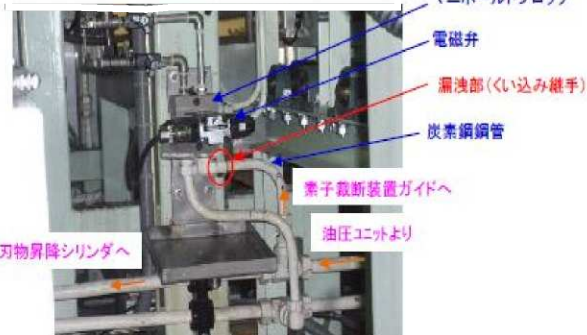
### ① 発生時の状況

- ・10月10日21時50分に素子裁断装置の操作盤から警報が発報したため、現場を確認した結果、油圧配管から作動油が遮蔽フード内の床面に漏洩していることを発見し、直ちに油圧ポンプを停止することで漏洩を止めた。
- ・作動油の漏洩量は約60リットルで、作動油に含まれるPCB濃度は212mg/kgであった。
- ・漏洩箇所は遮蔽フード内であり、漏洩した作動油は全て回収しており、オンラインモニタリング計の数値にも異常はないことから、外部への影響は一切なかった。

素子裁断装置写真



漏洩部継手写真



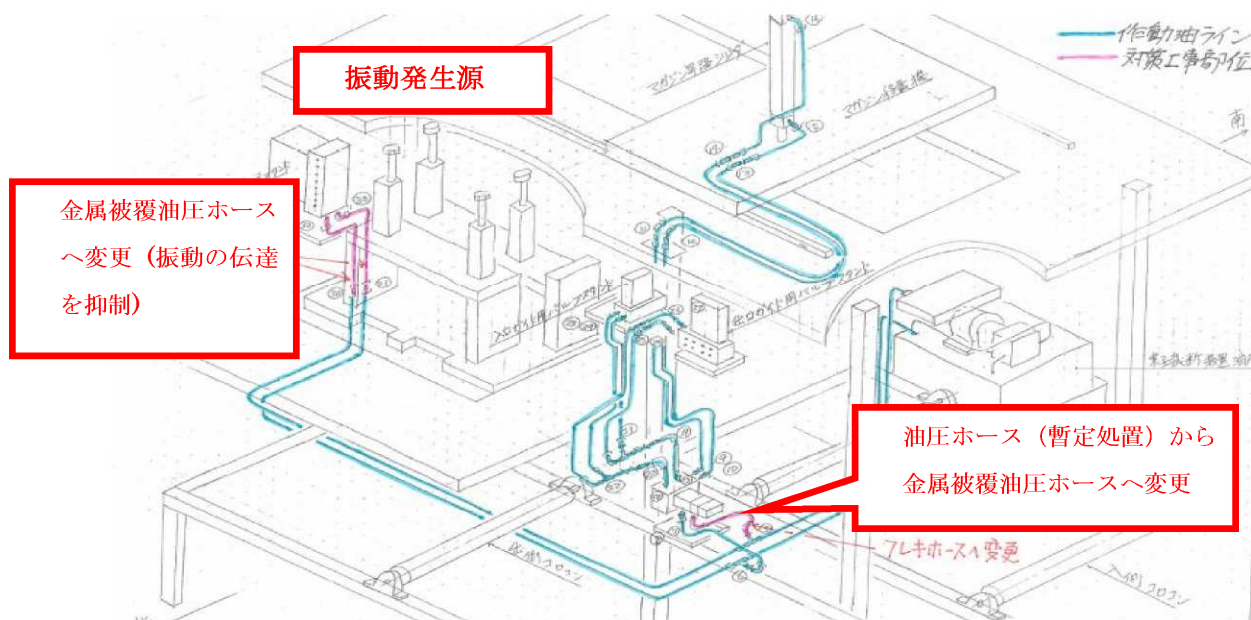
### ② 原因

- ・当該装置は、刃物が上下動を頻繁に繰り返す特殊な装置で、漏洩箇所直近の継手部では最大振幅値が約0.6mmと他に比べ非常に高い値が確認されており、振動の影響を受けたと想定される。
- ・漏洩部継手の詳細分析を実施した結果、当該継手部に異常は認められなかったため、素子裁断装置での振動によるナットの緩みが原因と推定される。

### ③ 再発防止策

- ・振動抑制策として、素子裁断部直近の作動油の固定配管（計3箇所）を金属被覆油圧ホースに変更することで、振動の伝達を抑制する。

金属製被覆油圧ホースへの変更箇所



④ その他装置での作動油漏洩防止対応

- ・同様の油圧装置は現在26台あり、そのうちの4台については今後は使用しないことから、PCBを含む作動油の全量抜き取りを実施した。
- ・その他残りの22台に関しては、ナットの緩みを把握するためのマーキング作業を完了させた上で、装置ごとに点検の頻度を決定し、油の滲み有無やマーキング部のずれの確認を継続して行う。

5 収集運搬に関するトラブルについて

前回の監視委員会以降発生した収集運搬に関するトラブルは以下の通りです。

(1) 収集運搬（保管中）機器からの漏洩

豊田事業所に受け入れを行った際に確認された漏洩事例は1件、搬入後保管中に保管庫内にて漏洩が確認された事例は3件です。

発生日	発生概況	状況
5月8日	保管中漏洩	4/24に受け入れたコンデンサ15台について缶体下部、補修部位から滲みだす状態で漏洩。 JESCOにて再補修を実施、受入抜油室にて保管。 補修状況について収集運搬事業者の確認、改善指導。
5月9日	保管中漏洩	4/12, 23に受け入れたコンデンサ6台について缶体下部、補修部位から滲みだす状態で漏洩。 JESCOにて再補修を実施、受入抜油室にて一時保管。 優先投入を実施。
6月12日	運搬中漏洩	コンデンサブッシング上部が僅かに欠けており、その部位から漏洩が認められ、固定用エアバッグに付着。 JESCOにて補修を実施、保管庫にて保管。 現地確認困難事例と判断し、全収集運搬事業者に注意喚起文を発信。
9月14日	保管中漏洩	8/27に受け入れたコンデンサ1台について缶体下部から滲みだす状態で漏洩（補修履歴なし）。 JESCOにて補修を実施、受入抜油室にて保管。 優先投入を実施。

(2) 収集運搬機器の養生不良

豊田事業所に受け入れを行った際に確認された養生不良と判断される事例は1件です。

発生日	発生概況	状況
7月7日	閉止板に穴	7/7に受け入れた大型トランス缶体上部放圧管に閉止板が取り付けられていましたが、この閉止板に5mmΦの穴が認められました。幸いPCBの外部漏洩はありませんでしたが、収集運搬事業者を経過経緯書、改善対策書の提出を求めると同時に、現地確認困難事例と判断し、全収集運搬事業者に注意喚起文を発信。

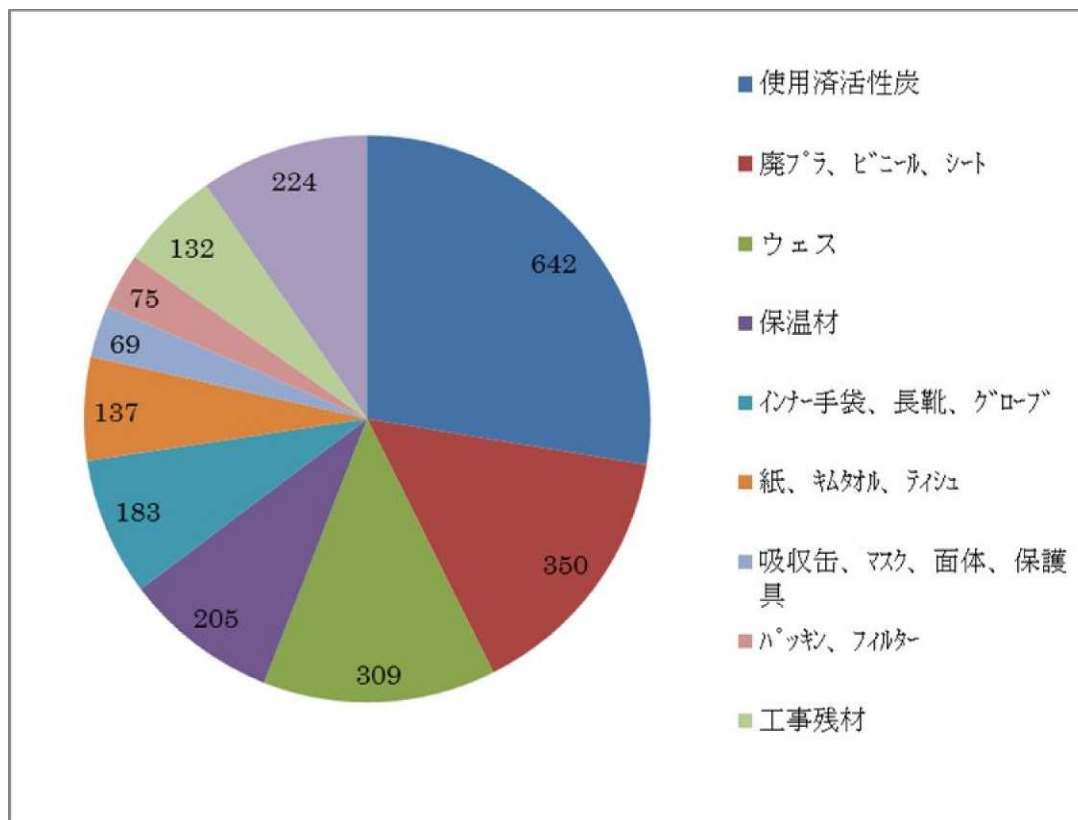
## 6 運転廃棄物の保管及び処理の状況

豊田事業所では、運転廃棄物の保管場所が少ないことから、可能な物については所内処理を行ってきました。

しかしながら、想定より多量の運転廃棄物が発生し、保管場所の不足により処理に支障を来す事態になりつつあることから、使用済活性炭の外部倉庫での保管や、無害化処理認定取得のための焼却実証試験用の試料提供等を行ない、昨年 8 月から、無害化認定業者への委託処理も開始しました。今後、計画的な処理を進め保管量の削減に努めます。

### ① 運転廃棄物入りドラム缶の保管状況（H26.12 末）

合計 2,326 本（内訳は下図の通り）



注：使用済活性炭入りのドラム缶については、上図の本数の内 408 本（セーフティネット活性炭のみ）を外部倉庫に保管している。

### ② 運転廃棄物の所内処理及び外部処理の実績

年度	事業所内処理			外部処理（ドラム缶数）	
	防護服	ポリ袋	廃油	実証試験	無害化認定業者 処理委託
H23 年度	14,400 着	640kg	2643L	—	—
H24 年度	15,750 着	700kg	1743L	108 本	—
H25 年度	18,000 着	549kg	373L	74 本+約 204 本相当	306 本+約 62 本相当
H26 年度（～12 月末）	13,050 着	482kg	357L	0	365 本+約 153 本相当

## 7 地域とのコミュニケーションについて

地域の皆様へは、弊社ホームページ、事業だより及び施設見学を通じて積極的に情報公開をしております。昨年度からの実績等は以下のとおりです。

### (1) 見学関係について

#### ①見学者の実績

	地域住民		行政関係		企業		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
25年度	4	37	18	81	48	148	3	31	73	297
26年度	1	14	9	32	34	91	1	14	47	199

※26年度は、平成27年1月5日現在

#### ②見学会に関するアンケート集計結果(平成25年12月～平成26年12月まで、見学者288名)

<b>質問1 説明は、わかりやすかったですか？ (回答270人)</b>			
	①わかりやすかった	②普通	③わかりにくかった
	93% (252人)	7% (18人)	0% (0人)
<b>質問2 説明者の対応はいかがでしたか？ (回答270人)</b>			
	①良い	②普通	③良くない
	91% (245人)	9% (24人)	0% (1人)
<b>質問3 本日の見学会は、参考になる内容でしたか？ (回答270人)</b>			
	①参考になる	②わからない	③参考にならない
	96% (259人)	4% (11人)	0% (0人)
<b>質問4 ご意見・要望等、ご自由にご記入ください。(回答人、以下は一部を抜粋)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民としては安全をよろしくお願いします。</li> <li>・防護服の試着など楽しかったです。環境問題について改めて関心がもてました。近年近くで爆発が2回も起きているので安全に気をつけてお願いします。</li> <li>・ご苦勞の多いお仕事で大変でしょうが、次世代に残さないためにも、処理をよろしく願いいたします。</li> <li>・一日も早くPCB処理が確実に行われるようお願いいたします。</li> <li>・見学ルートは限られていましたが、内容は理解できるようくんでいただいていると感じた。</li> <li>・体に対する害等の説明も少し入れてもらおうとよい。</li> <li>・化学の説明はわかりにくい。</li> <li>・資料及びパンフレットの内容が更に詳細なものがあるともっと深く知ることができると思う。</li> <li>・実際に現場確認ができてよかったです。</li> <li>・休日にもかかわらず対応ありがとうございました。逢妻男川の上流にこのような施設があることを知りませんでした。</li> <li>・自治区に戻りできるだけ多くの方に見学の機会を呼びかけたい。</li> <li>・工場内が大変きれいで驚きました。</li> <li>・すごくきれいにされており、管理が行き届いていると思いました。</li> <li>・安全に作業が行われていることがわかりました。</li> <li>・機械化(自動化)が進んでおり、人が接触することを削減していることが理解できた。</li> <li>・会社から出た物の処分方法等大変勉強になりました。</li> <li>・今後の参考になると思う。</li> <li>・わかりやすい説明でした。</li> <li>・ありがとうございました等のお礼(多数)</li> </ul>			



**(2) 周辺自治区（19自治区）への情報提供**

- ・平成26年5月～6月  
年度始めのごあいさつ及びポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画等の変更について情報提供した。
- ・平成27年1月  
年始のごあいさつ及び社名変更（平成26年12月24日）お知らせのため19自治区を訪問中。

**(3) J E S C O地域協議会（平成25年度設置）**

- ・目的：周辺自治区への情報発信と情報交換を行い、リスクコミュニケーションの推進を図る。
- ・構成：周辺19自治区のうち、事業所立地及び隣接の7自治区  
【樹木自治区、三軒屋自治区、広久手町自治区、広久手自治区、本地新田自治区、深田山自治区、土橋自治区】
- ・会議：平成26年8月27日（水）に開催  
会議内容については、別紙「実施内容報告」を参照

**(4) 豊田PCB廃棄物処理事業だよりの発行（毎月1回）**

- ・平成27年1月8日に通算129号を発行した。

## 平成 2 6 年度地域協議会の実施内容報告

## ◆日 時

平成 2 6 年 8 月 2 7 日（水）午後 1 時 3 0 分～3 時 3 5 分

## ◆場 所

協 議… J E S C O 豊田事業所 3 階 プレゼンルーム  
見学等… 3 階・5 階・7 階見学者通路  
3 階プレゼンルーム 防護服等の装着体験

## ◆出席者

○自治区長 7 人

「中野」樹木自治区長、「浦野」三軒屋自治区長、「市川」本地新田自治区長、  
「古川」深田山自治区長、「中山」広久手自治区長、「岡田」広久手町自治区長、  
「須賀」土橋自治区長、

○豊田市 3 人

環境保全課 近藤課長、小松崎技師  
廃棄物対策課 市川課長

○ J E S C O 8 人

豊田事業所 石垣所長、宗佐副所長、川津安全対策課長、津森審議役、  
古賀設備保全課長、宮田営業課長、松井総務課長  
本 社 望月豊田事業所アドバイザー

## ◆内 容

1 豊田市出席者の紹介、J E S C O 社員の自己紹介【1 3 : 3 0 ~ 1 3 : 3 5】

2 議事（進行：松井総務課長）【1 3 : 3 5 ~ 1 4 : 4 5】

(1) あいさつ（石垣所長）

- ・ P C B 処理廃棄物処理事業の基本計画の変更について
- ・ 地域協議会の設置目的について

(2) 豊田事業所紹介ビデオ視聴

(3) ポリ塩化ビフェニル（P C B）廃棄物処理施設について（説明：石垣所長）  
資料 1 「P C B 処理施設」参照

(4) 豊田事業の P C B 処理の進み具合について（説明：宮田営業課長）  
資料 2 「J E S C O 豊田事業の P C B 処理の進み具合」参照

(5) ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業基本計画の変更について  
資料 3 「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業基本計画の変更について」参照  
（説明：川津安全対策課長）

3 見学等【1 4 : 1 5 ~ 1 5 : 2 0】

(1) 見学者通路からの見学（説明案内：宮田営業課長ほか）  
3 階・5 階・7 階 見学者通路

(2) グローブボックス作業及び防護服等装着の体験（説明：石垣所長ほか）  
3 階 3 階プレゼンルーム

質問① 卒業してもよい判定は？

回答① 卒業の判定は、定められた基準に基づいている。  
分析結果により無害化（合格判定）できたものを払い出し（卒業）している。

質問② 大阪事業所エリアからPP（ポリプロピレン）コンデンサを持ってくるが、量はどれくらいあるのか？

回答② 約6,000台を想定している。  
大阪事業所エリアにあるPPコンデンサは豊田事業所で処理することを基本とし、そうでないコンデンサは当初の計画通りに大阪事業所で処理をする。両方持っている保管者にとっては、運搬コストが増加することになる。これらの取扱いについては今後つめていく。

質問③ PCBトランス等の製造は禁止されたが、使用中のものはどうするのか？

回答③ 現在、PCBを含むコンデンサ、トランスを使用している事業者がいらっしゃる。早めにPCBを含まない機器に交換してほしいと行政からお願いしていると聞いているが、使用中のものは廃棄物ではない。  
廃棄物の所管は環境省になるが、使用中のものは経済産業省の所管になる。国においては、関係機関、都道府県等の連携体制の構築について、必要な調整を行うと聞いている。  
現実的な話として、後継者がなくて自分の代で事業をやめるという事業主に對して、JESCOの立場では、それ以上のことは言えない。

#### JESCO地域協議会に関するアンケート結果

（7名中6名が提出、1名は早退されたため未提出）

質問1 本日のJESCOからの各種報告・意見交換は、いかがでしたか？

回答 (1) 有意義であった 6人（回答者6人中）  
(2) 普通 0人  
(3) あまり有意義ではなかった 0人  
(4) その他 ※ご自由にご記入ください。2人  
・初めての見学で大変勉強になりました。  
・PCB処理の仕組みが詳しく説明され、少し知識が増えた。

質問2 本日の見学（施設見学・防護服等の試着）は、いかがでしたか？

回答 (1) 有意義であった 4人（回答者6人中）  
(2) 普通 2人（ ” ）  
(3) あまり有意義ではなかった 0人  
(4) その他 0人

質問3 その他、今後の希望内容を含め、ご自由にご記入ください。

回答3名  
・安全対策を今後もよろしくお願いします。  
・大変危険な作業ですが、トラブル発生がないよう、社員への安全教育も含め進めてください。  
・参考になりました。